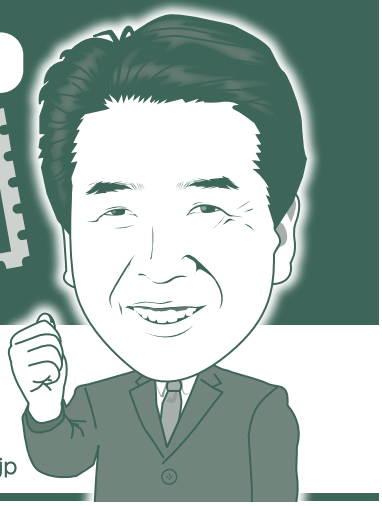
札幌市議会 市政報告 vol.24 2021.11

林せいじ 市政だより



市民が主役の街づくり。

［発行者］札幌市議会民主市民連合
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 ☎011-211-3212
林せいじ事務所 〒002-8025 札幌市北区篠路5条2丁目3-14
☎011-775-6321 FAX011-775-6322
URL http://hayashi.main.jp/ E-MAIL hayasi-seiji-jimusyo@biscuit.ocn.ne.jp

札幌市議会 第3回定例会閉会

新型コロナ感染症対策の徹底 市民生活を守る 施策実施へ提言

札幌市議会第3回定例会が10月28日、閉会しました。主な議案は2020年度各会計決算等です。各会計決算は賛成多数で認定され、他の議案も可決しています。決算特別委員会では札幌市の課題等についての質疑が行われ、新型コロナウイルス感染症対策も議論されました。

今年の1月16日以降、すすきの地区を中心に飲食店への時短要請や緊急事態宣言に伴う休業要請などが行われました。10月に入り感染者数の減少、病床使用率も改善し、緊急事態宣言は解除されましたが、飲食店への時短要請は継続されていました。

10月下旬から市内の新規感染者数は一桁が続くなど、対策の効果が表れてきたとも言われています。11月からは飲食店の人数制限撤廃、旅行、イベントなどの行動制限解除なども行われました。しかし、専門家からは感染第６波を懸念する声もあり、感染予防対策は今後も必要です。

第３回定例会最終日にはワクチンの3回目接種費として約61億円を追加する補正予算案が可決され、準備を進めることとなります。希望する方が引き続き接種できるよう、しっかりとした体制を求めていきます。

新型コロナへの対応に加え、札幌市が今後も住みやすい街として輝き続けていくために皆様の声をお寄せください。

札幌市議会議員　林 せいじ

2020年度決算の概要

2020年度はアクションプラン2019に掲げた計画事業の約9割に着手するなど、市長公約の実現に向けた大型予算となりました。また、新型コロナ感染症対策として3,600億円を追加補正するなど積極的な財政運営を行ってきました。

我が会派は、秋元市長の市政のかじ取りを支持し、支える立場で意見・提言を行ってきました。特にこの1年は新型コロナへの対応に関する緊急要望を実施し、その多くが政策として実行され、市民生活の向上につなげてきました。

下記の「さっぽろの家計簿」は、市民に市の財政を分かりやすくお知らせするため、家計に例えることを会派として求め毎年作成されているものです。

札幌市の財政を家計に例えると…

2020年度一般会計決算総額を、年収480万円（月40万円）の家計に例えると、以下のようになります。

さっぽろの家計簿

収入		支出	
給料	15.8万円	食費（人件費）	5.2万円
うち基本給（市税）	10.4万円	家族の医療費（生活保護などの扶助費）	10.2万円
うち諸手当（地方交付税など※1）	5.4万円	光熱費などの雑費（物件費・補助費など）	12.0万円
パート収入（使用料・手数料など）	1.8万円	車や家具の修理代（道路除雪などの維持補修費）	0.9万円
親からの仕送り（国からの補助金など）	16.7万円	子供たちへの仕送り（他の会計への繰出勤）	2.3万円
借金（市債）	2.9万円	借金の返済（公債費）	2.8万円
うち住宅ローン（公共事業などのための市債）	1.5万円	家の増改築費（公共事業など）	3.2万円
うちその他の借金（臨時財政対策債）	1.4万円	友人へ貸すお金（中小企業への貸付金など）	2.8万円
貸したお金が返ってくる分（貸付金返済金）	2.8万円	貯金（積立金、純剰余金）	0.6万円
合計	40.0万円	合計	40.0万円
貯金残高※2　33万円		借金残高※3　409万円	

※1　地方交付税は、税収の多い自治体と少ない自治体の間の財源を調整するなどの目的で、いったん国が集めた税を自治体に再配分しているもので、地方固有の財源です。ここでは、本来的に自治体の収入と言えることから、「給料（諸手当）」に区分しています。
※2　基金現金分のうち、将来の市債返済のための積立金などを除いたものです。
※3　一般会計・特別会計・企業会計を合わせた借金の残高は、家計に例えると、618万円です。

新型コロナウイルス感染症の現状

1 札幌市内感染状況

札幌市内の新型コロナウイルス感染症の状況
11月3日現在 ――

感染者総数は **37,433人** となっています。
治療終了者数は **36,567人**
治療中患者数は **25人** となっています。

新規感染者数は低い水準で推移し、病床使用率も落ち着いた状況を維持しています。そうしたことを受け、飲食店の人数制限やイベント・旅行などの行動制限が緩和されました。

2 札幌市内ワクチン接種状況

11月4日現在 ――

65歳以上　2回目接種済み
49万4,607人　91.2%

12歳以上～ 64歳以下
2回目接種済み
76万3,792人　60.1%

現在は12歳以上の接種を受け付けています。

3 今後の取り組み

新規感染者数の減少の要因として、ワクチン接種をはじめ、マスク着用、外出や会合・イベントの自粛などが挙げられています。

今後もワクチン2回接種後のブレークスルー感染や、ワクチンの効果が少ない新たな変異株の出現も懸念されています。ブレークスルー感染した方が死亡したケースも報道されており、引き続き慎重な対応が必要とされています。札幌市としても国などと連携し市民への正しい情報提供に努めていくこととしています。

会派としても情報を精査し、市民生活を守るための施策を今後も市に求めていきます。

ワクチン接種会場の札幌パークホテル

林せいじ活動報告

第2部決算特別委員会

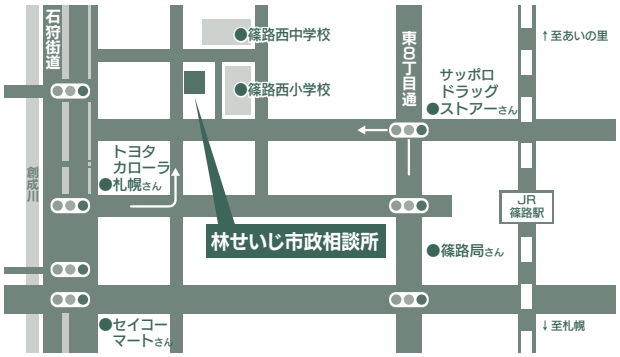
1. 建設局質疑「百合が原公園へのパークPFI導入について」

昨年度から札幌市は北区の百合が原公園にパークPFI制度を活用して、民間事業者による飲食店出店を目指し事業者申請を受け付けてきました。これまでも議会において進捗状況や地域住民への丁寧な説明などを求めてきました。コロナの影響により新規出店に応募する事業者がなく募集を中断していたところですが、今後の考え方を質問し、担当部局より飲食店出店だけではなく、公園全体の魅力アップと合わせて事業者の募集を行うとの方針を引き出しました。今後の進捗状況を注視していきます。

2. 都市局質疑「札幌版次世代住宅補助制度の改善及び市営住宅の省エネルギー化について」

高断熱・高気密の戸建て住宅建築への補助制度である「札幌版次世代住宅補助制度」の推進に向け、昨年度と今年度の制度改正の検証を行い、制度の充実と建築事業者への周知徹底を求めました。また、気候変動対策としての市営住宅の省エネ化推進についても質疑を行い、市は今後市営住宅へ、マンション全体でエネルギー消費量を20％以上削減すると言われる「ZEH-M oriented（ゼッチ・エム・オリエンテッド）」水準の実現を目指すことを明らかにしました。

お知らせ

市政相談の際は、
お気軽にお立ち寄りください。

〒002-8025 札幌市北区篠路５条２丁目3-14
TEL 011-775-6321　FAX 011-775-6322